

きょうど いじん
郷土の偉人

うめだ うんぴん
梅田 雲浜 先生





うめだうんびん 梅田雲浜先生って・・・

梅田雲浜先生は、いまから約200年くらい前に、小浜の武士の家にお生まれになりました。先生は、7歳で小浜の学問所であるじゅんぞうかん順造館に入学されて、勉学と武芸に励まれました。その後、京都と江戸でさらに学問に励まれ、全国のはんし藩士といっしょにきんのう勤皇とあいこく愛国の精神を学ばれました。27歳で今の滋賀県にこなんじゅく湖南塾という学問所を開かれ、29歳で京都の有名なぼうなんけん望楠軒の校長先生になられています。

当時の日本は、江戸時代の徳川将軍の政治（ばくふ幕府）が、時代に合わないものとなり始めていました。また、外国の船がたくさん押し寄せるなどして、社会的にも不安が多い世の中でした。

先生は、このような世の中を変えるべく、「そんのうじょうい尊王攘夷」という、天皇をたてて、外国から日本を守るという考えを広められました。この考えは幕府の政治に反するものでした。このため、小浜藩から家臣の身分をうば奪われて、ろうにん浪人となってしまいます。しかしながら、先生は自分の正しいと思った道を歩み、小浜藩の政治や、幕府のいろいろな問題に意見されています。また、日本全国でこの考えを広めようと努力されました。

しかし、先生の考えは幕府を倒そうとする考えとみなされ、その

中心人物とされてしまいました。このため、捕らえられて江戸の牢屋ろうやに入れられてしまいます。牢屋では度重なる拷問たびかさごうもんを受けましたが、考えを変えることなく、幕府の非を訴え続けられました。しかし、残念ながら45歳という若さで牢獄死ろうごくされてしまいます。

先生の死は無駄むだになったのでしょうか。そんなことはありません。先生の死から約10年後、先生の同志や教え子たちの努力により、徳川氏の幕府政治は終わり、明治という新しい時代を迎えることになります。これは明治維新めいじいしんといわれ、わたしたちの現在の生活の基礎きそを創つくった時代です。わたしたちが、何不自由なく文化的に生活できるのも、先生の努力があったためではないでしょうか。このような立派な先生が小浜出身であることを、わたしたちは誇りほこりに思わなければなりません。

歴史キーワード

江戸時代……1603年に徳川家康とくがわいえやすが江戸（東京）に幕府を開いたことに始まります。小浜は若狭国の中心として栄え、今の城内地区に小浜城がありました。

順造館じゆんぞうかん……小浜藩の学問所として1774年に開校しました。順造館の正門が現在若狭高校の正門となっています。

望楠軒ぼうなんけん……京都にあった全国的に有名な私塾で、崎門学きもんがくという学問を教えました。崎門学は国や家族の道徳を教えた学問です。

尊王攘夷そんのうじょうい……日本古来の天皇の権威けんいを認め、外国の影響を排除する考え。

安政の大獄あんせい たいごく……幕府大老の井伊直弼いなおすけが、尊王の志士ししを罰した事件。梅田雲浜のほか、吉田松陰よしだしょういん・橋本左内はしもとさないなどが投獄とうごく、処刑されました。

梅田雲浜先生に学ぶこと



勉強だけでなく
体も鍛えよう！

目上の人を^{うやま}敬い、
やさしい人になろう！

常に大きな目標を
もち、達成のために
努力しよう！

甘えの心をなく
し、自分の力で行
動しよう！

正しく善悪の判断がで
きるようになろう！

編集 梅田雲浜先生奉賛会

小浜市教育委員会